

第13回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成26年10月22日 15時00分～17時13分

2 場所 県庁13階第1会議室

3 出席者

委員	宮城 委員（委員長） 泉川 委員 照屋 委員 諸見里 委員（教育長）	（欠席委員） 富川委員 石嶺委員
	統括監等	教育指導統括監、教育管理統括監、参事2名
	課長及び 班長等	総務課長、教育支援課長、施設課長、学校人事課長 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
教育 庁	職務のため 出席した者	（事務局） 総務課総務班班長、同班主査、同班主事 学校人事課県立学校人事管理監、同課県立学校人事班主幹 同課小中学校人事管理監、同課小中学校人事管理班主幹、同班主査 県立学校教育課特別支援教育監、同課特別支援教育班主任指導主事、同班指導主事、 同課高校教育改革班指導主事 義務教育課学力向上推進室長、同課副参事兼義務教育指導班班長
4 傍聴した者 記者4人 / その他2人		

平成26年第13回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	<p>ただいまから平成26年第13回県教育委員会会議・定例会を開催します。</p> <p>本日は富川委員が体調不良の為、石嶺委員が所要の為、それぞれ欠席となっております。</p> <p>でははじめに、議事日程の決定を行います。会期は本日1日とし、会議の順序等についてはお配りした日程案のとおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>次に、第12回会議録の承認を行います。石嶺委員を指名していましたが、本日欠席のため、照屋委員にお願いいたします。</p>
照屋委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>今回の会議録署名人は、泉川委員にお願いします。</p>
泉川委員	はい。了解しました。
委員長	<p>それでは、報告事項に入ります。</p> <p>報告事項1「平成26年第5回沖縄県議会（9月定例会）における質問・答弁等概要報告」について、総務課から報告をお願いします。</p>
総務課長	<p>（報告事項1の説明）</p> <p>・「平成26年第5回沖縄県議会（9月定例会）における質問・答弁等概要報告」</p>
委員長	<p>御質疑ございますか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>今回の議会では学力向上に関する質問が多かったと感じました。小学校の順位が急激に上がった要因の分析結果は出ているのでしょうか。</p>
義務教育課長	<p>義務教育課では様々な要因の分析をしていますが、この27年間の学力向上の取組が大きなベースとなり、また各市町村教育委員会と学校が連携して様々な取組をするという体制ができあがっていました。それに加え、平成19年に実施された全国学力・学習状況調査において、本県の子ども達の学力は伸びてはいるものの十分ではなかったことを認識し、反省・分析を行い、新たな取組を展開しました。</p> <p>具体的には、文部科学省の調査官を招聘した授業研究会を数多く実践し、教職員研修のあり方について見直しを行いました。</p>

	<p>また、秋田県の教員との人事交流が始まり、全国トップレベルの秋田の 방식을沖縄の先生方に紹介し、学校で実践していただきました。さらに、秋田に数名の教員を1年間派遣し、現地で学んだことを成果として持ち帰り、沖縄で広めるなど様々な取組をした結果、昨年度に実施された全国学力・学習状況調査において、小学校では文部科学省が目安としている全国差5%以内に入ることができました。このことは、全国平均が目前であるということを示しており、この結果が非常に大きなはずみになったと思われます。</p> <p>さらに、昨年度には様々な改革がありました。学力向上推進室を立ち上げ、支援訪問ということで、本庁の指導主事が直接学校に出向き、現場の先生方とじっくりと授業づくりについて話し合いを行いました。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査や到達度調査などのテストの際、終了後すぐに採点結果を入力することにより本県の学校全体の平均点や自身の学校の平均点、どの問題が弱いのかを把握することができるWEBシステムを導入しました。</p> <p>その結果、全国学力・学習状況調査終了1週間後には、本県の子ども達1万5千名分のデータが入力され、県の平均点が昨年度より非常に高くなったことや、どの問題が弱いのかを把握することができました。これまでは8月に結果公表がされ、分析が始まるまで何も手をつけられない状況でしたが、今年度は5月から追加指導を行うことができるようになりました。</p> <p>このような様々な取組が総合的に作用し、各学校が一生懸命取り組んでくれたことが全国24位という結果に導いたと考えています。</p>
委員長	<p>段階を経てということですね。昨日、全国都道府県教育委員会連合会理事会において、他県の委員長さんも本県の小学生の学力向上に関心を持っていらっしゃいました。やはり他県からも視察などに来ているのでしょうか。</p>
義務教育課長	<p>大阪府、三重県、横浜市、北海道、広島県、滋賀県など多くの自治体が視察に来ています。昨日は、鹿児島テレビの取材がありましたが、明日・明後日には北海道教育委員会の方が視察に来る予定となっております、非常に注目を集めています。</p> <p>しかし、一部の報道では、付け焼き刃的な反復ドリルだけをやって点数が一気に上がったというようなことが言われてますが、そういったものではないということを強調させていただきたいと思います。</p> <p>これまでの長い取組が功を奏して、また平成19年の調査結果の反省の上に立って、この数年間学校が必死に取り組んだ結果や、推進室等の取組によるものだと思います。特に、一番大きな要因は昨年度全国平均5%以内に入ったことだと思います。</p>
委員長	<p>急に学力が上がる訳ではなく、普段の学習姿勢や態度がテスト結果に表れ</p>

	<p>たものであるということを今後も説明していくべきですね。</p> <p>他に御質疑はありますでしょうか。</p>
照屋委員	<p>「わかる授業サポートガイド」の中に、平成23年度から総合教育センター等で研究授業などをされていたもので、ひとりひとりに合った分かりやすい授業づくりをユニバーサル化させることにより学力向上や落ち着いた学級づくりに繋げているという報告を聞いたことがあります。23年度から26年度まで継続して研究された報告書を見ましたが、過去の研究で素晴らしいものがあり、それも学校支援訪問などに生かされていると思いますので、それを継続して、いかに学校現場の校長や教頭がリーダーシップを発揮して、校内研修をして授業に生かすのかが今後の課題だと思いますので、そのあたりの学校への支援を続けていただきたいと思います。</p>
義務教育課長	<p>去年以上に充実した取組ができるように頑張りたいと思います。</p>
委員長	<p>脳脊髄液減少症については支援を募っているSNSを見ていましたので、気になっていました。</p> <p>現段階では、西原町は支援のための条例制定に向けて取り組んでいるという状況ということですか。</p>
保健体育課長	<p>平成24年3月1日の体育の授業中に体育館でタグラグビーというボールを持たないラグビーを行っている中で、衝突がありました。1週間後に、頭痛があるということで近くの小児科で受診したとのことですが、そのときは特に異常はなかったようです。しばらく頭痛が続いたため、総合病院には通っていたのですが、それでも頭痛が続くということで琉大病院で受診し、特別な検査をしたときに脳脊髄液減少症と診断されました。</p> <p>県内で治療を進めていましたが、改善が見られないため、県外で治療をするということになったとのことでした。</p> <p>現在西原町では、昨日の新聞報道にもありましたように救済措置ということで治療費を無利子で貸し付けるための条例について審議を進めています。</p>
委員長	<p>学校内で起きたということですが、部活ですか。</p>
保健体育課長	<p>授業中です。時間が経過しているため、直接の因果関係について 西原町も書類を提出して診断結果の回答待ちという状況です。</p> <p>学校の場合、一般的な病気や事故などは日本スポーツ振興センターの災害共済で対応できますが、それ以外の先進医療となった場合適用できないため、自己負担となっています。そのため保障ということで西原町が動いています。そちらで対応できない場合には全国町村会賠償保険での対応ということで、双方について弁護士を立てながら対応しているようです。</p>
照屋委員	<p>今小学生ですか。学校には行っていますか。</p>
保健体育課長	<p>中学2年生です。現在は休みがちです。</p>

委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、次に報告事項2「平成27年度公立学校管理職候補者選考試験最終合格者の報告」について、学校人事課より報告をお願いします。</p>
学校人事課長	<p>(報告事項2の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成27年度公立学校管理職候補者選考試験最終合格者の報告」
委員長	御質疑ございますか。
照屋委員	この合格者は待機になりますか。それとも、すぐ採用になりますか。
学校人事課長	一部待機になりますが、次年度の異動によって校長や教頭として昇任して、採用しています。
教育長	校長が病休や死亡する場合もあり、その場合には待機者の中から充てることになっているため、どうしても一定数、待機者を用意する必要があります。
委員長	中学校や高校では数学や国語など専門の教科があると思いますが、どのような方が多かったですか。
学校人事課長	科目別ではばらつきがあり、偏りは見られません。
委員長	試験内容としては、面接と小論文がありますよね。
学校人事課長	教頭は、筆答と小論文と面接があります。校長は面接試験があります。
委員長	書類審査もありますか。
学校人事課長	書類審査は、最終段階であります。小中は所属長や教育長の評価や自身の活動に関する書面審査もあり、その後ペーパーによる試験があります。
委員長	書類で落とすこともあるのですか。
学校人事課長	書類だけで落とすことはありませんが、トータルで判断しています。
照屋委員	合格者の中に養護教諭もいらっしゃいますか
学校人事課長	一人います。栄養教諭も一人います。
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、次に報告事項3「平成25年度『児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査』結果等の概要」について、所管課より報告をお願いします。</p>
義務教育課長 県立学校教育 課長	<p>(報告事項3の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成25年度『児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査』結果等の概要」
委員長	御質疑ございますか。
照屋委員	中学校の不登校のきっかけの中に、「学業の不振」がありますが、小学校で特別支援学級だった生徒が、中学校で普通クラスに配置され、宿題のプリ

	<p>ントが全くわからずに不登校になったり、高等学校では生徒指導の先生と相性が悪く学校へ行けないというような事例を耳にしたことがあります。</p> <p>各関係箇所との連携や指導方法はどのように行われているのでしょうか。たとえば、特別支援学級の先生や高等学校における生徒指導のあり方や現場で指導している先生方が暴力行為に対して押さえつけを行っていたり、否定的な言葉かけを行い、暴力行為を挑発するきっかけになっていることもあるようですが、そのあたりの対応の方法などを伺いたいです。</p>
義務教育課長	<p>支援員が付いた放課後指導を行っていますが、問題行動を起こしたり不登校になったり、パニックになり逆上したりする事例があることについては認識しています。暴力的な行為を行った子どもに押さえつけをしている事例があるとのことでしたが、逆上している子どもに対しては、冷却する場所を与えクールダウンをさせて、ゆっくり話を聞かせたりしています。</p> <p>また、多くの学校では門前払いせず、まず学校に受入れて指導する方法をとっています。内面から子どもたちの心を育てていかなければいけないと考えています。</p>
県立学校教育課長	<p>生徒指導連絡協議会、地区講座など、中学校と同様に、現場の先生方に、根気強く「ダメなものはダメ」という指導を行うようにしています。ただし「見捨てない、卒業させるんだ」という気持ちできめ細かい指導をするようお願いしています。</p> <p>県内の各地区に「心の会」（しんのかい）や「孝心の会」といった生徒指導関係の連絡協議会があり、そうした場所でも、きめ細かな根気強い生徒指導をしていこうという確認をしています。</p>
泉川委員	<p>件数と人数の関係を教えてください。年度内に同じ子が3回の暴力行為等を行った場合の件数の数え方は、1件ですか。3件ですか。</p>
義務教育課長	<p>一人が3回起こしたら、3件と数えて文科省に報告しています。</p>
泉川委員	<p>一度収束した後、また起きた場合には2件とカウントするため、同じ子が複数回の問題行動を行った場合には、その学校やクラスでは問題行動の件数が突出することになりますね。</p>
義務教育課長	<p>そうです。</p>
泉川委員	<p>「問題行動」という言葉自体に、生徒が悪いことを起こす主体であるという見方があると思われれます。</p> <p>支援が必要な行動であるという見方や、本人のSOSや適応行動の未熟さと見る等の前向きな見方を「問題行動」という名前の付け方には見いだすことができません。なんらかのコンセンサスが必要だと思います。</p> <p>問題行動とは言っていますが、その問題を、みんなの問題であるという視点で捉えれば、支援が必要な行動と置き換えることができ、そのような見方</p>

が福祉の世界では、常識化してきています。教育の中でもそのような視点があるとは思いますが、「問題行動」と言ってしまうことで、生徒を押さえつけるように取られることが残念だと思います。

先生方も支援行動として、配慮して指導していると思います。その中で必要な支援というと、環境の調整と本人の自立支援の2つが想定されます。

1つ目の環境について言うと、本人の居場所を確保することが一番大きなテーマになります。それが学校の中にできているならば、不登校にはなりません。学校外にだけ生徒の居場所があるときには、必然的に不登校になるため、学校の中に居場所を確保することが重要です。

もうひとつは、本人の自尊心や自立心については学力とも関係するということだと思います。昨今、点数や順位として学力が上がっているところですが、「問題行動」が軽減していくなどの波及効果がなければ、本来的な学力向上とは言えないと思います。

生徒の学力が向上するということは、自身の能力や自尊感情が高まるということですので、周りに対する配慮ができ、いじめのような行動が出にくい状況になりますし、他の人に対して受容的行動がとりやすくなり、いじめや不登校を相対的に軽減する作用があると思います。

そのような意味で、学力調査の結果が向上したと喜んでいるところですが、いじめ、暴力、不登校も軽減するような学力向上になって初めて意味のある学力という判断ができます。

そういう意味で、学力が上がりつつあるところなので、同時進行で改善していく必要があると思います。相乗効果を発揮すると考えますので、そのような視点で生徒さんの自立、自尊感情の支援、環境作り、居場所作りを進めて行けたらいいなと思います。

中学校においては学力の課題が顕在化しています。生徒に関しては、友人関係か勉強か部活のすべて、あるいは、どれかがうまくいっているということが中学生の居心地の良さに繋がると思われます。全部がダメならどうしようもないという気持ちになると思いますが、勉強があまり芳しくないと本人が思って、中学校生活を送るとなると、選択肢の中に友人関係と部活しか残らず、部活はスポーツとしての優秀さを求めるものであり、居心地の良い居場所としての機能を果たしにくいいため、友人関係に居心地の良さを求めるようになるものと思われます。その場合に、学校の中に排除的な空気があったりいじめがあると、自分のコミュニティを求め、遊ぶために非行グループに入り、それが結果として不登校につながるということもあり得ます。学校の中に、友人関係や居心地の良い場所を作ることが大切です。その中で、勉強や学習について、小学校で行われているような「わかる授業」を中学校でも

	<p>取り入れ、「私も勉強ができる、わかる」というような状況を作ってほしいと思います。</p> <p>部活というものに対しては、スポーツをすすめていく部活とコミュニティとしての居場所をつくるという意味でのクラブを中学校の中で工夫して作っていくこともいいのではないのでしょうか。学校内で対応できない場合には、地域の中に、そのようなコミュニティを作っていくことができれば、生徒の居場所と自尊心を保つことができず不登校という事態には至らないと思います。</p> <p>わかりやすい授業をしてわかる子が増え、自尊感情や肯定的な気持ちを持つことができれば、他人に対して優しくなり、むやみにいじめをすることはなくなります。</p> <p>このように「学習」する場所が確保されれば、不登校という状況から少し逃れることができると思います。そういった相乗効果をイメージした学力向上を進めていけたらと思います。</p>
委員長	あそび・非行の原因は分かっていますか。
義務教育課長	きちんとした調査はありませんが、居場所と関係があると思われます。子どもたちには家庭に居場所がなく、勉強がわからない、授業がわからず学校にも居場所がないという状況で、自身の存在意識もあるため、同じ環境の子ども達でつるみ、あそび・非行に走るのかなというのが個人的意見です。
委員長	あそび・非行をする子どもたちの声を拾ってあげて、原因をはっきりさせて、それに対応する受け皿としてわかりやすい授業を行うなど、解決方法を考える必要があります。
教育長	<p>本県の子どもたちの学力の状況は、二極分化が全国で一番激しい状況でした。そのため、積極的に行ったのは落ちこぼれない仕組み作りです。小学校では成功していますが、中学校では依然として差が開いたままであり、勉強のわからない子や不登校の子も多く、あそび・非行においては全国ワースト1です。</p> <p>小学校までは先生が積極的に関われればどうにかかりますが、中学校となると難しい問題が多々あり、時間がかかります。中学校の不登校の生徒は、学力の下位層と重なっています。</p> <p>中学校において、学力が下位層である子どもの学力を引き上げなければならず、また学力向上と非行や不登校をなくすことは一体であると考えています。</p> <p>非行や不登校に対し、家庭教育を含め社会全体で取り組まなければならないと思っていますが、学校でできることにも全力で取り組んでいきたいと思っています。</p>

<p>泉川委員</p>	<p>全国と比べてあそび・非行の比率が4倍近くと非常に高い特徴があります。前向きな捉え方をしますと、コミュニティを求める子どもたちが自身でコミュニティを作り、そこに入りやすい、集まりやすい、そういった「あそび・非行」というコミュニティができてしまったという状況です。けしからんというよりは、そこに追いやってしまった学校や家庭というコミュニティがその子たちにとって相対的に魅力の無いものとなっているため、居場所作りとして、ある種のコミュニティを求めたという風に、子どもの感性を前向きに捉えることもできます。</p> <p>数年前に成人式が少し荒れている時期に、全国的には、若者が引きこもって社会とコミュニケーションを断ち、自宅で孤立している状況下で、県内の成人式において、「荒れている」とされている子どもたちは、グループを作って、町を闊歩し、「けしからん」ということで取り上げられていたことが、私はそうは思いません。</p> <p>彼らはコミュニティを作り、コミュニケーションをとり、ある種の彼らなりの社会性を確保しているという見方もできます。社会とコミュニケーションが取れないというのではなく、比較的コミュニケーションを求めているということが、沖縄県の問題として取り上げられているところですが、それをある種の良さとして捉えて、「コミュニティを作ればよい」という発想で、学校内であれば部活を見直す、学校外であれば地域と一緒に場所を作るなど、工夫次第で、子ども達は本当は勉強を理解したいんだ、わかる場所なら行きたいんだということになることも大いにあり得ます。すべてを解決できるとは言えませんが、かなり比率を下げることはできると思います。</p>
<p>県立学校教育課長</p>	<p>授業が学校生活の大部分を占めていますが、現在、特別支援教育の視点を入れた授業のユニバーサルデザイン化の研究が進んでいます。また、中退対策担当者連絡協議会でも推進しています。</p> <p>誰にとってもわかりやすい授業を研究し、推進していくことが生徒の居場所づくりにもつながるということで、高校でも取り入れていく傾向があります。</p>
<p>泉川委員</p>	<p>高校では社会自立に繋がる技能に関する科目を作りやすいと思うので数多く作るといいと思います。</p> <p>中学校の義務教育の課程では、部活のような放課後活動の中に、例えば植木をするとかボランティアをするといった視点を取り入れるといいのではないかと思います。</p>
<p>照屋委員</p>	<p>7、8年前の話ではありますが、中学校で女の子のグループがあり、その子達がふらふらと遊んでいたところ、昔不良だったという地域の大人がダンスを教えたそうです。放課後はダンスレッスンをするために地域の自治会館</p>

	<p>などに依頼をし居場所を提供してもらい、ダンスに力を注ぐようになり、その結果、あそび・非行がなくなったそうです。またそのダンスを学校の文化祭や地域の催し物で披露したようです。このように地域の行事などにコーディネートしてくれる大人がいればいいなと思います。那覇市でもやる気フェスタなどはそのような目的で行われていると思われます。</p>
委員長	<p>地域でも取り組まれていますね。</p>
義務教育課長	<p>中学校文化連盟では、絵画だけではなく、ヒップホップなど様々な活動の場を設け、発表させたり、地域によっては青年会と連携し地域の青年達にエイサーを教してもらったり、各地で色々と取り組まれているようです。</p> <p>中学を卒業してふらふらしている子どもたちを誰が指導するのかというのは難しい問題で、役場や学校、関係機関などを網羅した組織が指導を行っていくという方向性があるのがいいと思います。コーディネートする人や組織があれば問題行動はもっと少なくなると思います。</p>
泉川委員	<p>次年度の予算で地域と学校をつなぐコーディネーターを兼務で全校に配置するものがあつたと思いますが。</p>
生涯学習振興課長	<p>泉川委員がおっしゃっているものと多少違うかもしれませんが、「家庭教育力促進『やーなれー』事業」が今年度からスタートしており、現在家庭教育推進委員会を立ち上げています。</p> <p>その中の第二部会では、幼児期の子どもを持つ親、小学校低学年の子どもを持つ親、小学校高学年の子どもを持つ親、中・高の子どもを持つ親の4段階に分け、それぞれの段階において、生活習慣にかかること、学習環境にかかること、規範意識道徳マナーにかかること、家庭内外における体験活動にかかることと大きく4つに分け、それぞれの親御さんに合うようなプログラムを作成しており、現在9割方できています。</p> <p>また、この事業では、嘱託員8名を家庭教育支援リーダーとして配置し、そのリーダーのもとでアドバイザーの養成を行うことを予定しております。</p> <p>これが先ほどまで上がっていた問題の予防的意味合いの取組みになり、対処療法になるかもしれないがいざ問題が起こった場合には、地区に配置されたリーダーやアドバイザー、民生員、学校の地域連携担当で支援チームを作って問題解決を図るという計画を立てているところです。</p> <p>長い取組になると思いますが、秋田県でも学力がまだ低いときに家庭教育から取り組んだということも聞いており、特にこの事業には力を入れています。</p> <p>1,500部印刷予定の冊子が完成次第、関係機関や学校に配布しながら必要に応じて取扱いについて指導し、またその他フォーラムなどを開き、事例発表を行っていきたいと思います。</p>

	また、内容については、マスコミ等を通じ、のぼりやチラシを活用し、地道に活動していきたいと考えています。
泉川委員	<p>熊本県が家庭教育推進のための講座を開設し、年間何千、何万人の参加があるという報告がありました。やーなれー事業により、居場所作りや家庭教育の推進により、相乗効果を期待できると思います。</p> <p>ちなみに、私が先ほど言った事業は本県の予算ではなく、文科省の次年度の概算要求の事業の話でした。</p>
照屋委員	これからのやーなれー事業の効果に期待したいと思います。
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、次に報告事項4「平成26年度第1回沖縄県学力向上推進本部会議開催結果」について、義務教育課より報告をお願いします。</p>
義務教育課長	<p>(報告事項4の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成26年度第1回沖縄県学力向上推進本部会議開催結果」
委員長	<p>御質疑ございますか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>校長先生たちの志気も上がっていると思います。中学校については現在も分析・検証をされているかと思いますが、新聞に掲載されている部活の問題など中学校には様々な難しい問題があると思います。これについても、何らかの成果が出れば、一つの要因だったのだということが見えてくると思います。</p> <p>毎月第3日曜の家庭の日に加え、平日に週一日の休養日を設けるというのはいつから実施ですか。</p>
義務教育課長	これは提言ですので、文書が届いてから各学校において校長や教頭を中心に学校内で話し合いのうえ判断し、実践していくものですので、いつから実施という期日が決まっているものではありません。それぞれの実情に応じて、学校で判断していくというものになります。
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>報告事項は以上となります。それでは、審議事項に入ります。</p> <p>本日は、議案が4件となっておりますが、議案第2号から第4号は人事案件となっておりますので、非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>それでは、議案第1号「平成27年度沖縄県立特別支援学校の幼稚部及び沖縄県立高等特別支援学校の入学定員」について、県立学校教育課から説明を</p>

	お願いします。
県立学校教育課長	(議案第1号の説明) ・「平成27年度沖縄県立特別支援学校の幼稚部及び沖縄県立高等特別支援学校の入学定員について」
委員長	御質疑ございますか。
照屋委員	幼稚部では、「幼児の発達検査の実施、保護者の保育参加等について面談を行う」とありますが、「保護者の保育参加等について」ということは保護者が付き添いでということですか。
県立学校教育課長	そうですね。幼稚部の場合には、保護者の付き添いを条件としているため、その意思確認をするということです。
委員長	幼稚部の合格発表について、合格と不合格の基準はどのようなものがありますか。
県立学校教育課長	意思確認をして、発達検査を行えば、保護者が辞退しない限り受け入れています。
委員長	一般の試験の合格とは異なるのですね。
県立学校教育課長	そうです。中には、幼稚部の希望を出しているが、3月末に幼稚園や保育園に通うことを決める方もいらっしゃるため、12月中旬に決定通知を出しています。
委員長	他にございませんか。 (なし) それでは、このとおり決定してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次の議案からは非公開案件となりますので関係者以外はご退出願います。 休憩します。 (関係者以外退室) (以下は非公開部分のため省略します)